

離床・見守りセンサー

メディカルプロジェクト (静岡市葵区)

挑 び

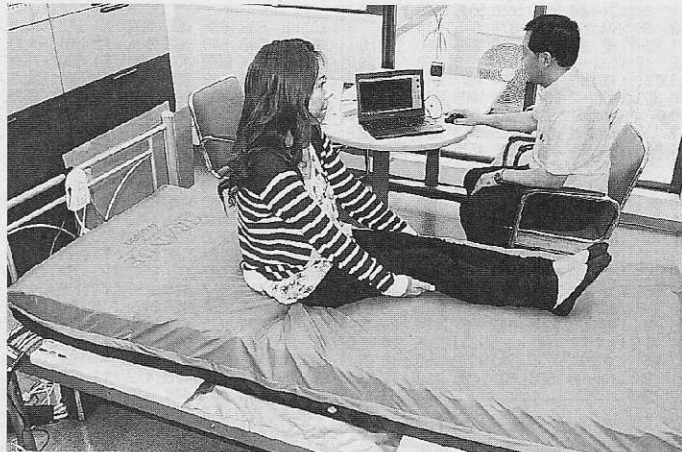
しずおか創造企業

ベッド上での体のわずかな動きを感じてくれるセンサーシステムを開発した。要介護者の見守り補助員として、全国の介護福祉施設などに販売している。高齢化社会の進展を見据え、独自の機器開発で拡大する介護市場の開拓に努める。

マットレスの下に敷いた

安全介護へ創意工夫

高性能センサー付きのシートが、呼吸や心拍に伴う人体の微弱な振動を感知し、ベッド脇の簡易モニター装置に表示する。重量感知機能も備え、ベッドから人が離れると



マットレス下に敷いたセンサーの反応をチェックする社員
—静岡市葵区

ナースコールが作動する。センサーシートの形状や素材を工夫し、低反発やエアーマットなどさまざまなタイプのマットレスの下でも、正確なデータ

タ計測を可能にした。富士セラミックス(富士宮市)と県工業技術研究所との共同研究で、老人ホームで実証実験も行った。

家族や訪問介護士への

成長への鍵

森典昭社長(64) 新製品開発には創意工夫とスピードが不可欠。全国規模の展示会に積極的に参加し、医療や福祉の現場の意見を大切にしている。何度も失敗はあるが、改良を繰り返して製品化を実現させる過程が楽しい。団塊の世代が後期高齢者になる2025年に照準を合わせ、市場ニーズを的確に捉えた製品を投入していく。



通信機能を追加した在宅介護用の新システムも開発中。小林信明本部長(51)は「要介護者の安全対策へのニーズは高い。新技術開発の余地はまだある」と話す。

◇会社概要 1982年設立。従業員19人。静岡市葵区大鋸町1の12

経 済

しずおか